

1 部会の目的

第3回研究会で検討した「策定方針（案）」に基づき、次期基本計画の政策課題や解決策の案の検討を深める。ここでは、網羅的ではなく、この10年間に特に重点的に取り組むべきものを次期基本計画に向けた検討素材として作成

2 基本的な考え方

《これまでに無い新しい形の「部会」（第1回研究会提案）》

- ・ テーマに応じて専門家、NPO等が順次委員として参画
- ・ 必要に応じて調査研究プロジェクトを実施

3 運営方法

《部会のテーマと数》

- ・ 部会のテーマ設定及びそれによる部会の数について
 - ⇒分野横断的で融合を組み込んだ検討体制
 - ⇒2部会（生活・地域部会、都市部会）とし、各委員は専門分野と専門外分野の2部会にクロス参加するとともに、テーマに合わせユニットを立上げ
 - ⇒部会速報やホームページ等で情報共有、コア会議でさらに交流・融合

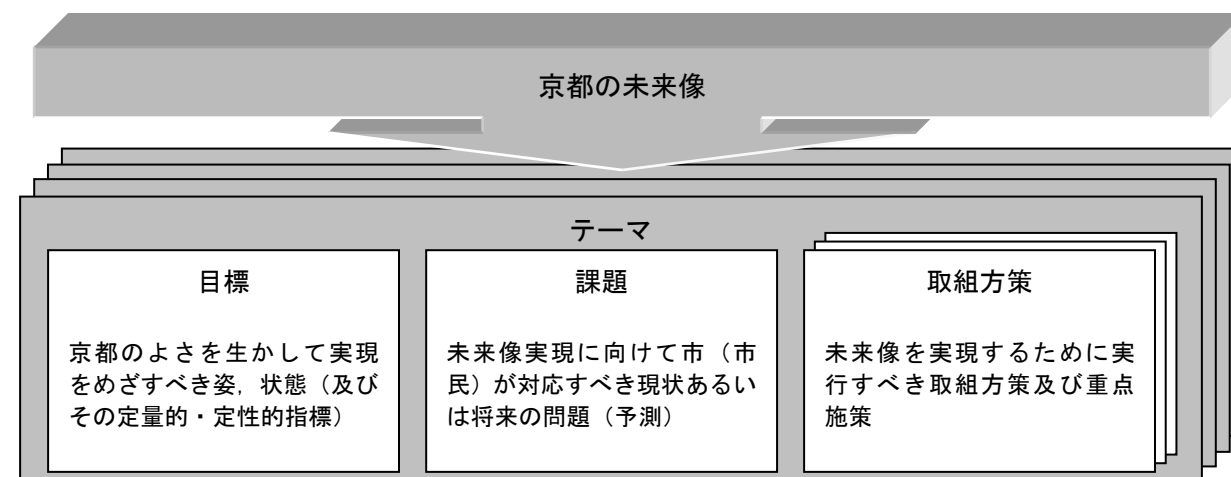
《部会の構成メンバー》

- ・ 研究会委員以外の専門家、NPO等の招請について（招請委員又はゲストとして）
 - ⇒部会の検討事項に即して委員から推薦提案を受けて招請
 - ⇒庁内各分野の審議会・委員会等との連携
 - ⇒100人委員会との連携
 - ⇒必要に応じて関係部署の担当者を招致
- ・ 次期基本計画策定支援チームメンバーの参画のありかたについて
 - ⇒部会のメンバーとして参画
 - ⇒必要に応じて、職員数人単位での取組方策研究PTを立ち上げ、委員のアドバイス等を得ながら取組方策を深堀（成果を部会へ報告）

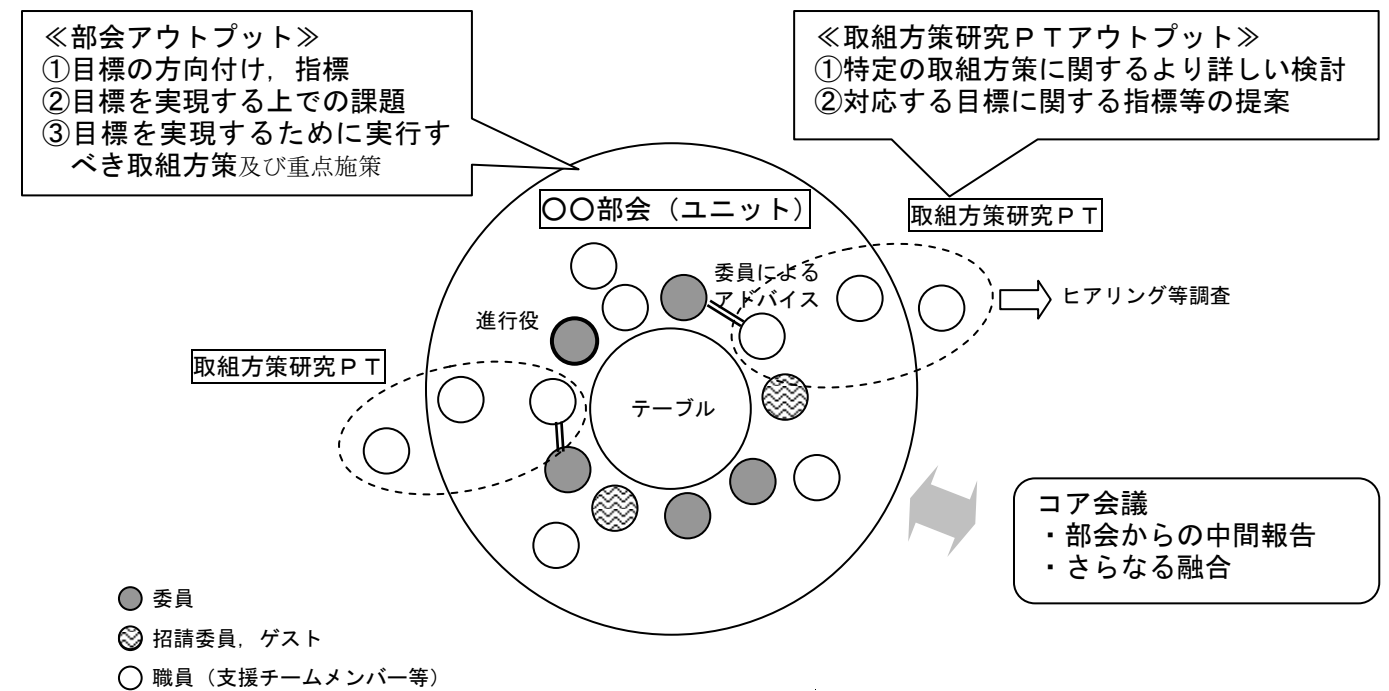
《検討事項（アウトプット）》

- ・ 検討方法及びアウトプットの構成について
 - ⇒政策課題ごとに、目標、課題、取組方策をパッケージで検討
 - ⇒各委員は担当テーマについて、PTメンバーとともに深堀

【「京都の未来像」の構成要素イメージ】



【運営イメージ参考図】



4 運営スケジュール（ダイアグラム：予定）

